

歴史探訪

クラブ! 其の113

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

500年余り続く伝統

二七の市

古い倉庫を調べたら、古い冊子が
見つかりました。それは、田原中部
小学校の郷土クラブが、昭和35年8
月2日に二七の市について調べたも
のでした。

二七の市は、戦国時代、田原城下
町ではじめられた六斎市ろくさいいち（月に6回）
がルートといわれています。昭和34
年9月ごろまで、旧国道などで開か
れていたのですが、車が多くなった
ため安全な船倉橋西広場ふねくらばしひろばあつみの
郷（旧渥美病院）北側く松下公共駐
車場（昭和57年）へと開催場所を変



●昭和初期の市の様子(柳町通り・田原町)

えていきました。そして平成21年10
月17日に、街の中心市街地「セント
ファール」に場所を移しました。
さて、当時の小学生が調べた記
録によると、昭和35年は240軒の
出店がありました。また、それ以前
は昭和10年に291軒、昭和13年に
323軒、昭和23年に248軒の出
店が記録されています。また、昭和
16年の子どもの作文によれば、現在
の旧国道沿いに、出店が町の端から
端まで1kmに及ぶときもあったそう
です。一番多く売られていたものは、
野菜・果物類で、各年8割以上を占
めています。野菜は「なす、きゅう
り、かぼちゃ、じゃがいも、玉ねぎ、
さといも、さつまいも、なんば、な
んばとう、ま
め、とうがん、
しそ、白さい、
*果物は「すい
か、きなうり、
まくわうり、
トマト、メロ
ンうり」で、
懐かしい呼び
名も見られま
す。また「か

ぶと虫」も売られていました。
これは、旧国道から移転した翌年
の調査で、「交通上の問題はある程度
排除できたが、今回の所は場所がせ
まく、混雑度は以前よりひどくなっ
ている。何とか対策を打って伝統あ
る田原の市を正しく運営し、購買者
販売者共に便利なように図る必要が
あるう」(原文まま)と鋭い意見を述
べています。意外に二七の市の記録
は少なく、この小学生が書き残した
記録は貴重なものです。



▲昭和51年の市の様子

市には特別な施設はなく、農家や
商店の方たちが広場に集まり、露天
に店を広げ、市を開きます。今も季
節の野菜を中心とした店が並びます。
しかし、どんなものでも手に入るこ
の時代に、このような素朴な市が続
いていることは不思議です。二七の
市は、宗教行事を除けば500年余
り受け継がれている田原で最も古い
伝統と言えます。現在、市が開かれ
ているセントファールは現代的な商
業施設なので、ここで伝統ある市が
開かれることも不思議な気がします。
現代的なディスプレイに似合わない
素朴な商品が多いなか、市には決し
てお金では買えない何か不思議な魅
力があるのでしょうか。(増山)

*このときの調査では、果实的野菜も果物
として記録されています。

今月の「表紙」

▼2階まで立派に伸びた
ゴーヤのエコカーテン。お
世話をしている子どもた
ちが、葉っぱの陰からひよこり
と顔をのぞかせてくれました。す
ると、口々に「臭い〜!」の大合唱。
私もそおと顔を近づけると、独
特の香りがぷん。ゴーヤの香り
を初体験した子どもたち。いろん
な表情を見せてくれました。(O)
【表紙の写真】ゴーヤのエコカーテン(中部保育園)

広報 **Tahara** たはら
編集・発行 / 田原市役所政策推進部広報課
電話 / 0531-22-1111 (代表)
Eメール / koho@city.tahara.aichi.jp
No.672 平成22年8月15日号

本誌は再生紙を使用しています。